

# 江戸時代(1)

江戸幕府の成立…「織田がつき 羽柴がこねし天下餅 座りしままに食うは徳川」

1600年

【 関ヶ原 】の戦い（岐阜県）…天下分け目の戦い  
 【 徳川家康 】（東軍） vs 【 石田三成 】（西軍）

1603年

【 徳川家康 】が【 征夷大將軍 】に任命され、  
 【 江戸 】に幕府を開く→2年後に將軍職を【 徳川秀忠 】に譲る

## 豊臣氏の滅亡

方広寺鐘銘問題…「国家安康 君臣豊楽」

1614年

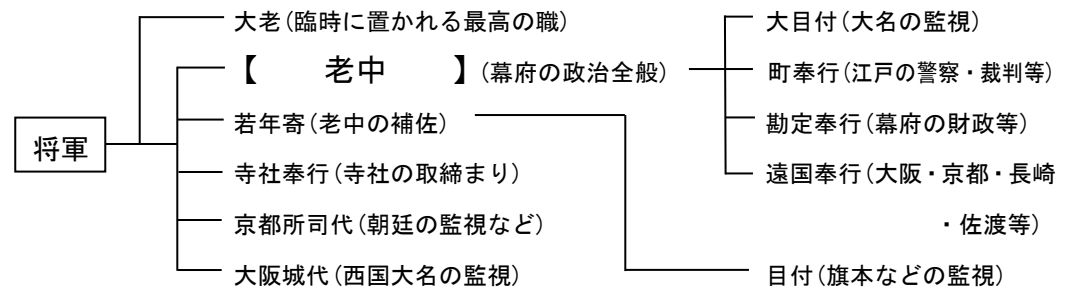
【 大阪（大坂）冬の陣 】

1615年

【 大阪（大坂）夏の陣 】→豊臣氏滅亡

江戸幕府のしくみ…3代將軍【 徳川家光 】の頃までに完成

## 江戸幕府の組織図



大名…1万石以上の領地を持ち、【 藩 】を統治する

【 親藩 】…徳川家の親族

【 譜代（大名） 】…関ヶ原の戦い以前から徳川に従う

【 外様（大名） 】…関ヶ原の戦い以降、徳川に従う

江戸の近くや重要な地方を統治

旗本…1万石未満の將軍直属の家臣で、將軍に会うことができる

御家人…1万石未満の將軍直属の家臣で、將軍に会うことができない

【 天領 】…幕府の直轄地（400万石）

その他旗本・御家人の領地と合わせて700万石で、全国の4分の1が幕府の土地

1615年

【 武家諸法度 】…大名の統制

きんちゅうならびにくげしよはつと

禁中並公家諸法度…天皇・公家の統制

1635年

【 参勤交代 】…3代將軍【 徳川家光 】

大名を1年ごとに江戸と領地に住ませ、妻子を人質として江戸に置く

徳川家康…「鳴かぬなら 鳴くまで待とう ほととぎす」

小田原の北条氏が治めていた関東地方を引き継ぎ、

15世紀半ばに【 太田道灌 】によって築かれた江戸城を拠点とする

御三家…【 紀伊 】・【 水戸 】・【 尾張 】

身分制度…「士農工商」

[士] 武士は特権あり…苗字帯刀、切捨御免、城下町に住む

[農] 【 年貢 】 …四公六民～五公五民。武士の生活を支える  
助郷役…役人や大名の荷物を運ぶ

【 五人組 】 …年貢や犯罪についての連帯責任制

慶安の御触書…徳川家光が定めたとされていた農民のきまりごと

本百姓…自分の土地をもった農民

水呑百姓…土地をもたず、借りて耕作する農民

村方三役…本百姓の中から選ばれ、領主の指示で村を治める

【 名主 】・【 組頭 】・【 百姓代 】

[工] 職人 } 両方を合わせて【 町人 】とも言う  
[商] 商人 } 税はほとんどかからない

## 江戸時代初期の外交政策

これまでは…

織田信長 キリスト教容認…仏教勢力との対抗⇒南蛮貿易を有利に

豊臣秀吉 キリスト教禁止…武士の支配には不都合⇔南蛮貿易は続ける

徳川家康 キリスト教容認→禁止へ

1600年

オランダ船リーフデ号が豊後（大分県）に漂着

イギリス人ウィリアム＝アダムズとオランダ人ヤン＝ヨーステンが家康の家臣になる

【 朱印船 】 貿易…幕府の許可証（＝【 朱印状 】）を発行

↓  
相手国…東南アジアが中心→各地に【 日本町 】が形成される

【 山田長政 】…シャム（現在のタイ）のアユタヤ王朝に仕えた

- ・キリスト教の布教によって、スペインやポルトガルに侵略される恐れ
- ・キリシタンたちが団結して幕府に反抗する恐れ
- ・西国のキリシタン大名たちが貿易で経済力をつける恐れ

1624年

スペイン船の来航を禁止→日本人の海外渡航と帰国を禁止（1635年）

1637年

【 島原・天草 】一揆…キリシタン・百姓ら約37000人による一揆

16歳の【 益田四郎時貞 】（天草四郎）を頭に、島原の原城を制圧

幕府の力だけでは抑えきれず、オランダの助けを借りて鎮圧

当時の将軍は【 徳川家光 】

→キリシタンの取り締まりを強化

【 絵踏 】…キリスト教の信者でないことを証明させる

【 寺請 】制度…すべての人を必ずどこかの寺に所属させる

1639年

【 ポルトガル 】船の来航を禁止→鎖国の完成

平戸にあるオランダの商館を長崎の人工島【 出島 】へ移す

貿易は長崎のみに制限…相手国は【 オランダ 】・【 清 】

・オランダ…オランダ商館長に【 オランダ風説書 】を提出させる

・清…正式な国交はないが貿易はさかん 長崎の【 唐人屋敷 】で貿易

┌ 輸入品…生糸・絹織物

└ 輸出品…金・銀・銅→国内で銀が不足→長崎貿易の制限

・琉球王国…島津氏（薩摩）と中国の二重支配を受ける

・朝鮮…【 宗 】氏（対馬）を窓口として、朝鮮の釜山で貿易

将軍の代替わりごとに朝鮮通信使

・蝦夷地…【 松前 】藩が【 アイヌ 】の人々と交易

族長【 シャクシャイン 】の反乱

## 江戸時代(2)

1685年～

元禄時代(17世紀末～18世紀初め)…5代将軍【徳川綱吉】の政治

- ・【生類憐みの令】 極端な動物愛護令→「犬公方」
- ・幕府の財政悪化の建て直し→貨幣の質を下げて量を増やす→結果は？  
物価が上がり、人々の生活は苦しくなる
- ・儒教を重視→湯島に【孔子】を祀る【<sup>まつ</sup>聖堂】を建てる  
幕府は儒学の中でもとくに【朱子学】を重視…厳しい身分制度に都合がよい

正徳の治(18世紀初め)…【新井白石】の政治

6代将軍徳川家宣<sup>いえのぶ</sup>・7代将軍徳川家継<sup>いえつぐ</sup>に仕える

- ・「生類憐みの令」の廃止
- ・長崎貿易の制限…【金銀】の海外流出を防ぐため

1716年～

8代将軍【徳川吉宗】の政治…【享保】の改革

御三家のひとつ【紀伊】藩(和歌山県)出身

幕府財政の建て直し…米の生産量増加政策→【米】将軍

- ・【上米】の制…大名に、石高1万石に対して100石の米を納めさせる  
⇔【参勤交代】で江戸にいる期間を半年に短縮
- ・新田開発
- ・年貢の割合の引き上げ(四公六民から五公五民へ)
- ・ききん対策として【さつまいも】の栽培を奨励…蘭学者【青木昆陽】
- ・【目安箱】の設置…庶民の意見を取り入れる→小石川養生所・町火消
- ・【公事方御定書】…裁判の公正をはかるための法律
- ・キリスト教に関係のない洋書の輸入解禁→【蘭学】の発達

老中【田沼意次】の政治

幕府財政の建て直し…商人の経済力を利用

- ・【株仲間】の奨励…特権を与えるかわりに税を納めさせる  
→景気回復・経済の発展⇔幕府と大商人のみが利益を受けるという批判
- ・都市部での【打ちこわし】の増加…裕福な商人の店からの略奪
- ・【浅間】山の噴火
- ・【天明】の大ききん
- ・賄賂の横行→政治の乱れ

⇒ 失脚

1787年～

老中【 松平定信 】の政治…【 寛政 】の改革

白河藩（福島県）出身・徳川吉宗の孫

幕府財政のたて直し…徹底した儉約政策・文武の奨励

- ・【 困米 】の制
- ・寛政異学の禁…幕府の学校では【 朱子学 】以外の学問禁止
- ・出版物などの取り締まり…幕府への批判、風紀を乱すおそれのあるもの  
幕府の鎖国政策を批判した『海国兵談』の著者・林子平を処罰
- ・棄捐令…借金きまひんの帳消し

1841年～

老中【 水野忠邦 】の政治…【 天保 】の改革

- ・【 株仲間 】の解散…特権をなくして自由な商売をすすめる→経済が混乱
- ・外国船打払令（異国船打払令）をゆるめる…薪・水・食糧を与えて帰らせる
- ・人返し令…江戸に出てきた農民を強制的に農村へ帰らせる
- ・上知令…江戸や大阪周辺の土地を幕府の直轄地に  
→大名や旗本の反対で批判が強まり2年で失脚

## 江戸時代(3)

元禄文化…明るく活気に満ちた町人たちの文化

【 上方 】(京都・大阪)の裕福な町人たちを中心に発達

<文学>

・【 井原西鶴 】…町人の生活を描いた【 浮世草子 】

と呼ばれる小説

『好色一代男』『日本永代蔵』『世間胸算用』

・【 松尾芭蕉 】…俳諧(俳句)

東北地方を弟子と旅した紀行文『【 おくのほそ道 】』

・近松門左衛門…義理人情をテーマとする歌舞伎・人形浄瑠璃の台本

『曾根崎心中』『心中天網島』『国性爺合戦』

<美術>

【 浮世絵 】の発達…町人の日常などを生き生きと描く 木版画で大量印刷

・菱川師宣…『見返り美人図』

農業技術の進歩・産業の発達

・【 備中ぐわ 】…これまでのくわよりも深く耕することができる

・【 千歯こき 】…脱穀に使う

・千石どおし } …もみと米を選別する

・唐み

・【 金肥 】…金を出して買う肥料

・商品作物の栽培

河内(大阪府)の木綿

出羽(山形県)の紅花

阿波(徳島県)の藍など

・【 九十九里浜 】のいわし漁(地引き網)→干鰯として肥料にも

・蝦夷地…ニシン・サケ・コンブ漁

・フカヒレ・干シアワビ・なまこなどを【 清 】に輸出

・林業の発達…【 参勤交代 】のため屋敷が必要 江戸は建設ラッシュ

・鉱山の開発…【 佐渡 】金山(新潟県)、【 石見 】銀山(島根県)

【 足尾 】銅山(栃木県)、別子銅山(愛媛県)など

## 交通の発達

街道の整備…【 参勤交代 】のため、大名行列の通る道が整備される

### ◆五街道

【 東海道 】(江戸～京都)	}	起点は江戸の【 日本橋 】
【 中山道 】(江戸～草津)		
【 日光街道 】(江戸～日光)		
【 奥州街道 】(江戸～白河)		
【 甲州街道 】(江戸～下諏訪)		

【 宿場 】町…旅行者の宿泊施設など

【 一里塚 】…一里(約4km)ごとに築かれた道しるべ

【 関所 】…街道の警備と管理

「入り鉄砲に出女」

「箱根八里は馬でも越すが 越すに越されぬ【 大井 】川」

・海上交通の整備…「人は陸、物は海」 年貢米や特産物の輸送

東廻り航路(東北—津軽海峡—江戸)

西廻り航路(東北—関門海峡—大阪)

【 酒田 】(山形県)…米の積み出し港として栄える

### ◆三都

江戸=政治の中心 「【 将軍 】のおひざもと」

大阪=経済の中心 「【 天下の台所 】」

…【 蔵屋敷 】 全国から特産物や年貢米が集まってくる

京都=文化の中心 工芸の町 天皇の御所がある

【 寺子屋 】…読み・書き・そろばんを教える

全国に約1万…ほとんどが都市部(1割は江戸にあった)

18 世紀末～  
19 世紀初期

化政文化…皮肉や滑稽こっけいを楽しむ庶民の文化

江戸の庶民を中心に発達（⇔元禄文化は【 上方 】の裕福な商人が中心）

<文学>

- ・ 滝沢馬琴 小説 『南総里見八犬伝』
- ・ 十返舎一九 小説 『東海道中膝栗毛』
- ・ 与謝蕪村 俳諧 「菜の花や 月は東に 日は西に」など
- ・ 小林一茶 俳諧 『おらが春』 「雪とけて 村いっばいの 子どもかな」など

<美術>…浮世絵の最盛期

- ・ 喜多川歌麿…美人画 『ビードロ（ポッピン）を吹く女』など
- ・ 葛飾北斎…風景画（富士山） 『富嶽三十六景』など
- ・ 歌川（安藤）広重…風景画 『東海道五十三次』など
- ・ 東洲斎写楽…役者絵 『市川海老蔵』など

<学問など>

- ・ 【 本居宣長 】…日本古来の考え方を研究する【 国学 】を大成  
『古事記伝』（古事記の研究書）
- ・ 【 杉田玄白 】・前野良沢…解剖学の研究書『【 解体新書 】』  
ドイツの医学書『ターヘル・アナトミア』を翻訳して出版
- ・ 【 伊能忠敬 】…日本各地を17年かけて測量『大日本沿海輿地全図』
- ・ 【 シーボルト 】…ドイツ人医師 長崎に【 鳴滝 】塾を開く  
日本地図を国外に持ち出そうとしたことが発覚して国外追放に

鎖国下の外交

1792年

ロシア使節【 ラクスマン 】が通商を求めて【 根室 】に来航  
遭難してロシアに助けられた日本の商人・大黒屋光太夫を送り届ける  
→根室では対応できず、函館～長崎へ向かうよう指示→帰国  
幕府の対応…江戸湾の守りを固める

- 【 間宮林蔵 】に千島を探検させる
- 【 近藤重蔵 】に樺太などを探検させる
- 【 伊能忠敬 】に蝦夷地の測量と地図の作成を命じる

1804年

ロシア使節【 レザノフ 】が通商を求めて長崎に来航



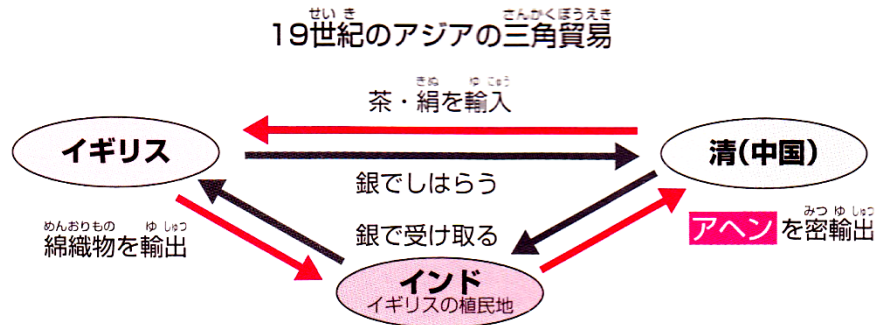
# 江戸時代(4)

## 外国船の来航

- 1792年 ロシアのラクスマン、根室に来航
- 1804年 ロシアのレザノフ、長崎に来航  
幕府のロシア対策…間宮林蔵に樺太、近藤重蔵に千島を探検させる  
【 伊能忠敬 】に蝦夷地の測量と地図の作成を命じる
- 1808年 フェートン号事件…イギリス軍艦フェートン号が長崎港に侵入
- 1825年 【 外国船打払令 】…清と【 オランダ 】以外の外国船は砲撃！
- 1837年 モリソン号事件…アメリカ商船モリソン号を砲撃⇒幕府への批判が高まる
- 1839年 蛮社の獄…幕府を批判した【 渡辺崋山 】・【 高野長英 】らを処罰

## 同じころの国内の動き

- 1837年 【 大塩平八郎 】の乱…大阪で幕府の元役人が反乱を起こす  
背景は【 天保 】の大ききんによる全国的な物価上昇
- 1840年 【 アヘン 】戦争 イギリス vs 清 ⇒清が大敗！



1841年～

## 老中【 水野忠邦 】の政治…【 天保 】の改革

- ・【 株仲間 】の解散…特権をなくして自由な商売をすすめる→経済が混乱
- ・【 外国船打払令 】をゆるめる…薪・水・食糧を与えて帰らせる
- ・人返し令…江戸に出てきた農民を強制的に農村へ帰らせる
- ・上知令…江戸や大阪周辺の土地を幕府の直轄地に  
→大名や旗本の反対で批判が強まり2年で失脚

## 黒船来航～開国へ

1853年

アメリカの【ペリー】、【浦賀】に来航  
「太平の眠りを覚ます上喜撰 たった四杯で 夜も寝られず」  
アメリカ大統領フィルモアの国書…開国と通商（貿易）の要求

1854年

【日米和親】条約（神奈川条約）…【下田】・【函館】を開港  
オランダ・イギリス・ロシアとも同じ内容の条約を結ぶ

200年以上続いた鎖国の終わり

1858年

【日米修好通商】条約  
アメリカ総領事【ハリス】—大老【井伊直弼】  
【横浜（神奈川）】・【神戸（兵庫）】・【新潟】・【長崎】開港（下田は閉鎖）

・【関税自主権】がない

輸入品にかかる税（関税）を決める権利がない

不平等条約

・【領事裁判権（治外法権）】を認める

外国人が日本で罪を犯しても日本の裁判にかけられない

オランダ・イギリス・フランス・ロシアとも同じ内容の条約を結ぶ  
朝廷や諸大名の反対をおさえて条約を結ぶ⇒幕府への批判が高まる

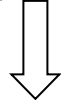
～1859年

【安政の大獄】…井伊直弼により、幕府を批判する人々が処罰される  
【吉田松陰】の処刑⇒幕府への反発がさらに強まる

1860年

【桜田門外の変】…井伊直弼が水戸藩の浪士たちに暗殺される

欧米を相手国とする貿易の開始



【生糸】や【茶】を輸出⇒品不足から国内では物価が上がり

人々の生活が苦しくなる

尊王攘夷運動の高まり

尊王…天皇中心の国家をつくろう 攘夷…外国（人）を打ち払おう

1862年

生麦事件…薩摩藩の行列を横切ったイギリス人が殺される

1863年

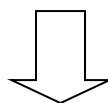
薩英戦争…薩摩藩 vs イギリス 互角の戦い⇒薩摩とイギリスが接近

1863年

長州藩、下関を通る4カ国連合艦隊を砲撃⇒下関砲台を占領される

アメリカ・オランダ・イギリス・フランス

【高杉晋作】が組織した【奇兵隊】の活躍



幕府を倒そうという動きが強まる

1866年

【 薩長同盟 】 …ライバルであった薩摩藩と長州藩が手を結ぶ  
土佐藩出身の【 坂本龍馬 】の仲立ち  
薩摩：【 西郷隆盛 】・【 大久保利通 】ら  
長州：【 木戸孝允 】ら



武力による倒幕を計画していたが…

打ちこわしや世直し一揆の増加 「ええじゃないか」の流行

1867年

【 大政奉還 】  
第15代将軍【 徳川慶喜 】が政権を天皇に返す 京都の二条城にて  
武力によらない政権交代の実現…坂本龍馬の「船中八策」

約 260 年続いた江戸幕府が滅び、約 700 年続いた武士の時代が終わる

## 明治時代(1)

- 1867年  
(10月) 大政奉還 第15代将軍【徳川慶喜】が政権を朝廷に返す  
江戸幕府は滅亡したが…
- (12月) 【王政復古の大号令】…【明治天皇】の名において宣言  
幕府を廃止し、天皇中心の政治を行う
- <新政府の中心人物>  
西郷隆盛・大久保利通(薩摩)、木戸孝允(長州)、岩倉具視(公家)など
- 1868～  
1869年 { 【戊辰戦争】…旧幕府軍 vs 新政府軍の戦い  
鳥羽・伏見の戦い(京都)…戊辰戦争の始まり  
江戸無血開城…西郷隆盛と【勝海舟】の会談 江戸での戦いを回避  
函館五稜郭の戦い…榎本武揚ら旧幕府軍が降伏
- 1868年  
(3月) 五箇条の御誓文…【大名】や【公家】に向けて出された政治方針  
五榜の掲示…一般の民衆に向けて出された政治方針
- 中央集権国家の建設**
- 1869年 { 【版籍奉還】…大名が治めていた土地(=版)と人民(=籍)を朝廷に返す  
旧大名→知藩事としてそのまま藩の政治を行う…実権はそのまま
- 1871年 { 【廃藩置県】…全国の藩を廃止して府や県を置く  
知藩事は東京へ移住 地方には中央から役人(府知事・県令)を派遣する  
⇒政府の命令が全国にゆきわたるようになる
- 1872年 琉球処分…琉球王国を琉球藩とする(「沖縄県」になったのは1879年)
- 1869年 四民平等…「士農工商」の廃止 すべての人々に苗字・職業選択や住所の自由  
{ 天皇一族=皇族、公家・大名=【華族】、武士=【士族】  
百姓・町人=【平民】
- 1871年 解放令…百姓・町人より厳しく差別されてきた人々を「新平民」とする  
表面上は差別がなくなったことになっているが…

文明開化…生活や社会の急速な欧米化

欧米の制度や技術・文化を積極的に取り入れる⇒目的は？

1871年

郵便制度の確立…【 前島密 】の尽力による

江戸時代の通信制度は？ → 【 飛脚 】

1872年

鉄道の開通…別名【 陸蒸気 】

【 新橋 】——【 横浜 】間

太陽暦の採用…それまでは「太陰暦」

近代国家の建設

スローガンは「【 富国強兵 】」・「【 殖産興業 】」

経済力を高めて強い軍隊を持つ 産業をさかんにして生産力を増やす

1872年

【 富岡製糸場 】（群馬県）の操業…最初の【 官営工場 】

フランスの技術を導入

政府が経営する工場

女子労働者の育成…士族の娘たちが働く

【 学制 】…6歳以上の国民に教育を→全国に小学校を建設

ただし建設費や運営費は住民が負担⇒反対一揆が起こる！

1873年

【 徴兵令 】…満【 20 】歳以上の男子は【 兵役 】の義務を負う

ただし長男や役人の息子は免除 多くは農家の次男・三男が兵役につく

大切な働き手を取られてしまうので…⇒反対一揆が起こる！

【 地租改正 】…

江戸時代は【 米 】で税を納めていたので税収が安定しない



土地の値段（地価）を定め、土地の所有者に【 地券 】を発行

地価の【 3 】%を【 現金 】で納めさせる



国の財政は安定したが…⇒反対一揆が起こる！

<sup>やり</sup>「竹槍で ドンと突き出す 二分五厘」（1877年に税率を2.5%に引き下げ）

1874年～

【 屯田兵 】…北海道の警備と開拓

特権を失って不満を持つ士族を中心に北海道へ派遣

<お雇い外国人>

モース…【 大森 】貝塚の発見

クラーク…札幌農学校 「少年よ大志を抱け」

フェノロサ…東京美術学校

ベルツ…医学 『ベルツの日記』

## 明治時代(2)

農民の不满…学制・徴兵令・地租改正

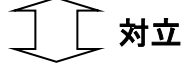
士族の不满…四民平等・徴兵令 「士族の商法」の不振



士族に少しでも仕事を与え不満を解消したい

【 征韓論 】…鎖国中の朝鮮を武力で開国させようという主張

【 西郷隆盛 】(薩摩)、【 板垣退助 】(土佐)らによる



対立

【 大久保利通 】(薩摩)、【 岩倉具視 】(公家)ら

時期尚早、国内の軍備充実と近代化が先であるという考え

岩倉使節団 (1871~1873) として欧米を視察

不平等条約改正の予備交渉・欧米の政治・文化の調査

征韓論は敗れ、西郷・板垣は政府を去る

1874年

【 民選議院設立建白書 】…板垣退助が政府に提出

- ・【 藩閥政治 】をやめるべきである ⇨薩長土肥の出身者で要職を独占
- ・国民が選んだ議員による【 国会 】を開くべきである



【 自由民権運動 】運動のきっかけとなる

1875年

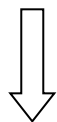
江華島事件…日本の軍艦が朝鮮沿岸を無断で測量→朝鮮が砲撃→江華島を占領

1876年

日朝修好条規…朝鮮に対する不平等条約

1877年

【 西南戦争 】…不平士族による最後の反乱



【 徴兵令 】によって近代的な軍隊を持つ政府軍の勝利  
リーダーであった【 西郷隆盛 】は自刃

武力がダメなら言論で！…自由民権運動の高まり⇨取り締まりは強化

- ・藩閥政治をやめる
- ・国会を開く
- ・【 憲法 】をつくる
- ・不平等条約を改正する
- ・地租を軽くする

1881年

政府は10年後(1890年)に国会を開くことを約束する



1881年

【 自由 】党…【 板垣退助 】が結成 フランスの影響

1882年

【 立憲改進黨 】党…【 大隈重信 】が結成 イギリスの影響

憲法をつくる準備のため、【 伊藤博文 】をヨーロッパに派遣

1884年

秩父事件…旧自由党員を含む農民たちが役所を占領⇒自由民権運動のおとろえ

1885年

【 伊藤博文 】が初代内閣総理大臣に就任…【 藩閥 】政治のまま

1883年

【 鹿鳴館 】の完成…明治政府によって建てられた社交場

1886年

【 ノルマントン号 】事件

イギリスの貨物船ノルマントン号が和歌山沖で沈没

⇒イギリス人船長と乗組員は救命ボートで脱出…全員助かる

⇔日本人乗客は全員水死→船長を日本の裁判にかけられない！



不平等条約改正に向けて世論が高まる

領事裁判権の廃止 (1894) …外務大臣・陸奥宗光 ——相手国・イギリス

関税自主権の回復 (1911) …外務大臣・小村寿太郎——相手国・アメリカ

1889年

(2月11日)

【 大日本帝国憲法 】の発布…草案は【 伊藤博文 】ら

君主の権力が強い【 ドイツ (プロシア) 】の憲法を参考に

⇒天皇中心の国づくりを目指す日本にとって手本となった

政治を動かす力 (= 【 主権 】) が天皇にある…<sup>きんてい</sup>欽定憲法

国の統治権・陸海軍の統帥権・外国と条約を結ぶ権利などもすべて天皇に

国民には詳しい内容が知らされないまま発布された

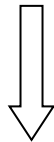
国民の人権は法律によって制限 ⇔自由民権運動で主張された意見は反映されず

1890年

第1回衆議院議員総選挙…選挙権 (投票する権利) を持つのは

【 直接国税 】【15】円以上を納める満【25】歳以上の男子のみ

(全人口の1.1%)



第1回帝国議会

{ 衆議院 …選挙で選ばれる

{ 【 貴族院 】…皇族・華族・天皇が任命した議員・高額納税者など